

永福寺と鎌倉御家人 — 荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり —

2022 10/15 国 12/4 回

YOFUKU-JI Temple, a vanished large-scale temple
Minamoto no Yoritomo loved
and
Kamakura gokenin, vassals of the Kamakura shogunate
— The Kamakura shogunate's magnificent yet solemn design
and its broad influence —



神奈川県立歴史博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

【開館時間】9時30分～17時（入館は16時30分まで）【休館日】毎週月曜日
【観覧料】一般 900円（800円）、20歳未満・学生 600円（500円）、65歳以上 200円（150円）、高校生100円（100円）
※（ ）内は20名以上の団体料金、中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料

※神奈川県立の美術館・博物館有料観覧券の半券提出により団体料金になります。

【交通】みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分 JR「桜木町駅」新南口（ICカード専用）から徒歩5分
市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分 Tel: 045-201-0926 / Fax: 045-201-7364

※感染防止対策として、入場制限を行う場合があります。

【主催】神奈川県立歴史博物館、文化庁 【特別協力】国寶史蹟研究会、湘南工科大学、中世瓦研究会、日本女子大学

【広報連携】鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館、埼玉県立嵐山史跡の博物館、半蔵門ミュージアム、横浜市歴史博物館

【後援】神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局

東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK横浜放送局

【助成】令和4年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業



【関連行事】□は事前申込制、申込多数の場合は抽選

□ 講演会

「鼎談!黎明期の鎌倉研究を語りつくす」

10月16日（日）13時30分～16時00分

講師：八幡義信氏（国寶史蹟研究会会長）

馬淵和雄氏（一般社団法人 鎌倉・中世文化研究センター）

古川元也氏（日本女子大学教授）

司会：渡邊浩貴（当館学芸員）

会場：当館講堂 定員：40名 受講料：無料（ただし、当日の特別展観覧券が必要）

申込締切：9月20日（火）（必着）

□ 塚博セミナー「永福寺から文化と権力を考える」（全5回）

10月23日（日）「平泉藤原氏の文化と権力」

講師：八重樫忠郎氏（岩手大学平泉文化研究センター客員教授）

10月30日（日）「鎌倉幕府の仏教と永福寺」

講師：平雅行氏（大阪大学名誉教授）

11月6日（日）「永福寺瓦と鎌倉御家人」

講師：小林康幸氏（鎌倉市職員）

11月13日（日）「永福寺と運慶仏」

講師：山本勉氏（鎌倉国宝館長、半蔵門ミュージアム館長）

11月20日（日）「鎌倉幕府の音楽と御家人本拠の莊嚴」

講師：渡邊浩貴（当館学芸員）

時間：各回13時30分～15時30分

会場：当館講堂 定員：各回50名（1回ごとのお申込みも受け付けますが、連続講座のため、全5回お申込みの方を優先します。）

受講料：各回1,000円

申込締切：9月27日（火）（必着）

□ 体験講座その1

「永福寺の復元研究とVR体験」

10月22日（土）13時30分～15時30分

講師：長澤可也氏（湘南工科大学教授）

会場：当館講堂 定員：40名 受講料：無料（ただし、当日の特別展観覧券が必要）

申込締切：9月27日（火）（必着）

□ 体験講座その2

「中世考古学入門—瓦と武士本拠の世界—」

11月27日（日）13時30分～15時30分

講師：池谷初恵氏（伊豆の国市教育委員会文化財課）

会場：当館講堂 定員：30名 受講料：無料（ただし、当日の特別展観覧券が必要）

申込締切：11月1日（火）（必着）

□ 現地見学会

「永福寺とゆかりの地を訪ねる」

11月9日（水）13時30分～16時00分

講師：福田誠氏（鎌倉市教育委員会文化財部文化財課）

渡邊浩貴（当館学芸員）

定員：15名 受講料：無料

申込締切：10月18日（火）（必着）

【次回展示のお知らせ】

「令和4年度 かながわの遺跡展」

2022年12月24日（土）～2023年1月29日（日）

特別陳列

「松平造酒助江戸在勤日記—武士の絵日記—」

2023年2月18日（土）～4月9日（日）



本展ではスマートフォンアプリによる展示解説も実施します。

※催し物は変更・中止になる場合があります。詳細はホームページをご覧ください。



永福寺復元 CG 湘南工科大学 長澤・井上研究室提供

源頼朝が愛した幻の大寺院

—莊厳される鎌倉幕府とそのひろがり—

永福寺と鎌倉御家人

YOFUKU-JI Temple, a vanished large-scale temple

Minamoto no Yoritomo loved

Kamakura gokenin, vassals of the Kamakura shogunate

— The Kamakura shogunate's magnificent yet solemn design and its broad influence —



東鑑 (慶長古活字版) 当館



菩薩 (行道面)
栃木 日光山輪王寺



序章 発掘された永福寺と鎌倉研究

1章 京・平泉の浄土世界

2章 永福寺の偉容と鎌倉幕府

3章 象徴たる永福寺式瓦と鎌倉御家人

4章 東国靈場と鎌倉幕府の莊嚴

5章 神さびた中世仮面と音楽文化

終章 武士本拠の景観と復原



大日如来坐像 真如苑真澄寺 半蔵門ミュージアム安置 重要文化財
※展示期間（11月8日～12月4日）



王の舞面 静岡 津毛利神社
静岡県指定有形文化財



当麻曼荼羅縁起 神奈川 光明寺 国宝



中世瓦群 満願寺出土
神奈川 横須賀市自然・人文博物館

しかし、永福寺跡は往事の壯麗さを示すに余りある考古資料であふれており、鎌倉幕府や鎌倉御家人たちにとつて永福寺がいかに重要視されていたかが偲ばれます。本展は、鎌倉幕府の成立とその展開に深く関わった永福寺に注目し、その全貌と軌跡を、文献資料・考古資料・美術資料などの多彩な歴史資料群から復原していきます。

院永福寺を鎌倉に建立するが計画され、建
久三年（一一九二）に完成をみます。以後永福寺は、
鶴岡八幡宮寺・勝長寿院とならび重要な宗教装
置として鎌倉幕府を支えるだけでなく、淨土世
界を体現したその偉容は、東国武士たちに対し
て幕府支配の正当性を文化的側面から見せつけ
る存在でもありました。ところが鎌倉幕府滅亡
後の永福寺は、室町期の火災で焼失してしま
うと再建されることなく廃絶してしまい、地中に
その歴史をとどめることになります。

鎌倉の二階堂にある国指定史跡永福寺跡。かつて源頼朝は、奥州合戦で平泉藤原氏を滅ぼした際に、中尊寺・毛越寺・無量光院をはじめとした北の都の絢爛豪華な浄土世界を目の当たりにし、その文化を鎌倉に持ち帰りました。結果、文治五年（一一八九）に臨池伽藍をそなえた大寺